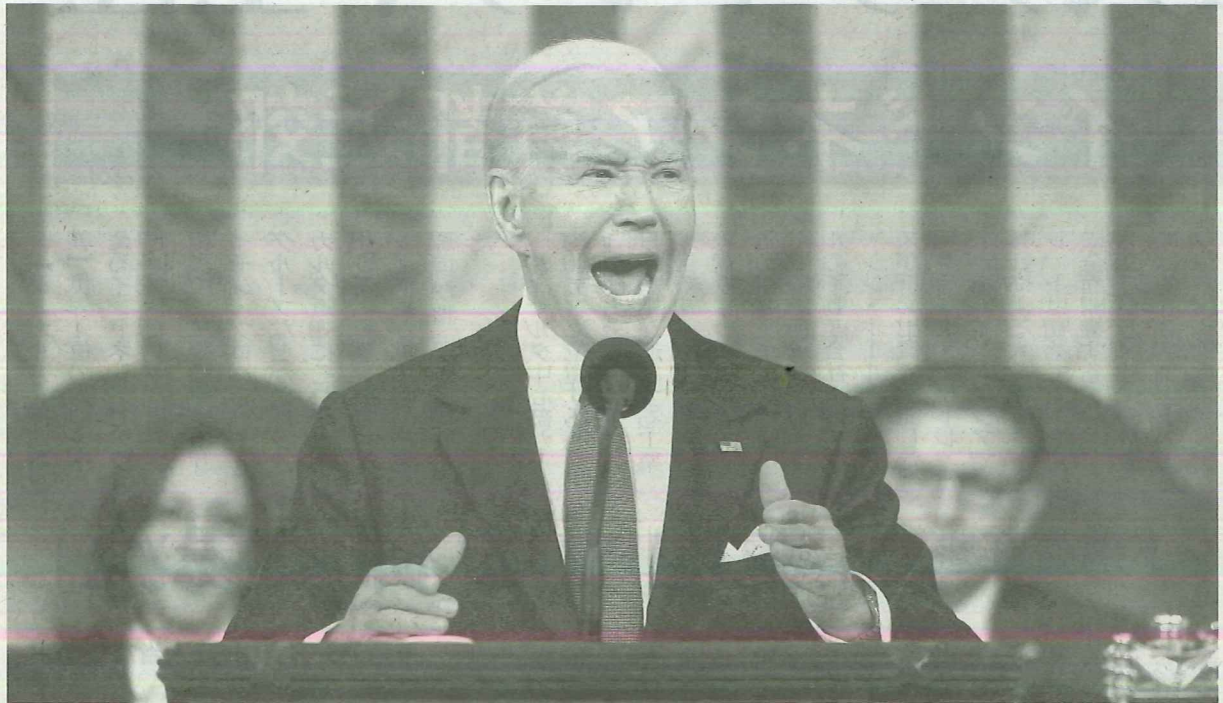


バイデン米大統領 一般教書演説(1面参照)

憎悪に安住の地 与えない

バイデン米大統領は7日夜(日本時間8日午前)、連邦議会の上下両院合同会議で内政・外交方針を示す一般教書演説に臨んだ。演説は次の通り(米ホワイトハウスが発表した原稿に基づく)。



プーチン氏に立ち向かう

こんばんは。下院議長閣下、副大統領閣下、議員の方々、米国民の皆さん。

1941年1月、フランクリン・ルーズベルト大統領は米国民に向けて演説するためこの議場に立たれた。彼は「わが国の歴史で前例のない時にあなた方に演説している」と言った。当時、ヒトラーが台頭し、欧州では戦争が荒れ狂っていた。

ルーズベルト大統領の目的は議会を自覚めさせ、平時ではないと米国民の人々に警告することだった。自由と民主主義が世界で攻撃を受けていた。

今夜、私は米国民に向けて演説するために同じ議場に立っている。いま米国の歴史で前例のない時に直面しているのは私たちだ。私の目的は議会を自覚めさせ、今この時も平時ではないと米国民の人々に警告することだ。

海外ではロシアのプーチン(大統領)が台頭し、ウクライナを侵略し、欧州全土とそれ以上に混乱を広げている。この議場でプーチンがウクライナで止まると考えている人がいるとしたら、私は保証する。プーチンは決して止まらない。

我々がウクライナを支持し、自衛のために必要な武器を提供すれば、ウクライナはプーチンを止めることができると信じている。ウクライナが要請しているのはそれだけだ。彼らは米

兵を要請しているわけではない。ウクライナで戦っている米兵はいない。そして私はその状態を保つと決意している。

しかしいま、ウクライナへの支援は、米国が世界でのリーダーシップを投げ出すことを望む者たちによって妨げられている。

私の前任者、共和党の前大統領は、プーチンに「何でも好きにしろ」と言った。米国の前大統領が実際にそう言ったのだ。ロシアの指導者に低頭して、法外で危険で容認できない。

議会襲撃忘れず

議会に向けて言いたい。我々はプーチンに立ち向かわなくてはならない。超党派の国家安全保障法案を私に送ってほしい。歴史が注視している。米国の背後を向ければ、ウクライナを危険にさらす。欧州を危険にさらす。

私の前任者、共和党の前大統領は、プーチンに「何でも好きにしろ」と言った。米国の前大統領が実際にそう言ったのだ。ロシアの指導者に低頭して、法外で危険で容認できない。

私は瀬戸際にあった経済を受け継いだ。今となつては、我々の経済は世界の羨望の的だ。たった3年間で、1500万の雇用が生まれた。記録的な米国民が中小企業を起業した。一つ一つが希望に満ちた活動だ。

米国内で80万の製造業の雇用が新たに生まれた。現在、かつてないほど大勢が医療保険に加入している。人種間の富の格差も過去20年で最も縮小した。賃金の伸びは止まらず、インフレ率も低下し続けている。

そして今、外国産の製品を輸入して米国の雇用を輸出するのではなく、米国の製品を輸出し米国内で雇用を生むようになつた。

米国民も変化を感じ始めた。調査をみると、消費者の信頼感は大きく改善した。米国の製品の使用を奨励する「バイ・アメリカン」は1930年代以来の法律だ。前政権を含め、過去の政権はバイ・アメリカンに失敗した。その時は終わった。

米国が発明した半導体を輸入するのではなく、現在は民間企業が米国内で半導体工場を建設するために数十億を投資している。数方にも及ぶ雇用を生み、その多くは年収10万ドルを超えるうえ、大学の学位も必要ない。

私の政策はグリーンエネルギーと先端製造業に6500億分の民間投資を呼び込みに、米国内で数万件の雇用を生んだ。

我々の超党派インフラ投資法のおかげで、あなた方のコ

この議場にいたあなたの方の多くと私の前任者は、生殖の自由の禁止を全米で可決するに反対している。次はどの自由を奪うのか?

私が(大統領に)就任する前、米国は今世紀最悪のパンデミック(世界的大流行)と最悪の経済危機に襲われていた。あの不安、記録的な雇用喪失を思い出してほしい。犯罪の急増、殺人率を思い出してほしい。

荒れ狂うウイルスが100万人以上の米国民の命を奪った。数百万人の愛する者たちを残した。孤立と孤独によるメンタルヘルスの危機。私の前任者は、最も基本的な義務を果たせなかった。いかなる大統領も米国民の面倒をみる義務を負う。許すことではない。

私は瀬戸際にあった経済を受け継いだ。今となつては、我々の経済は世界の羨望の的だ。たった3年間で、1500万の雇用が生まれた。記録的な米国民が中小企業を起業した。一つ一つが希望に満ちた活動だ。

米国内で80万の製造業の雇用が新たに生まれた。現在、かつてないほど大勢が医療保険に加入している。人種間の富の格差も過去20年で最も縮小した。賃金の伸びは止まらず、インフレ率も低下し続けている。

そして今、外国産の製品を輸入して米国の雇用を輸出するのではなく、米国の製品を輸出し米国内で雇用を生むようになつた。

米国民も変化を感じ始めた。調査をみると、消費者の信頼感は大きく改善した。米国の製品の使用を奨励する「バイ・アメリカン」は1930年代以来の法律だ。前政権を含め、過去の政権はバイ・アメリカンに失敗した。その時は終わった。

米国が発明した半導体を輸入するのではなく、現在は民間企業が米国内で半導体工場を建設するために数十億を投資している。数方にも及ぶ雇用を生み、その多くは年収10万ドルを超えるうえ、大学の学位も必要ない。

私の政策はグリーンエネルギーと先端製造業に6500億分の民間投資を呼び込みに、米国内で数万件の雇用を生んだ。

我々の超党派インフラ投資法のおかげで、あなた方のコ

バイデン氏はトランプ氏を名指しせず、「前任者」という表現で言及した(7日、ワシントン) — ロイター

ミニマムで4万6000件以上の新たなプロジェクトが発表された。道路や橋、港や空港、そして公共交通機関の近代化が進んだ。

60年以上にわたり自動車工場があった伊利ノイ州ペルビディアは再起を体現した素晴らしいストーリーの一つだ。私が就任する以前、この工場は閉鎖への道をたどっていた。数千人の従業員の生計が脅かされていた。希望が薄れていた。

こうしたなか、私は就任した。労組が結果を左右するに知っていた我々は、自動車企業に対して何度もベルビディアの話を掛けた。全米自動車労組(UAW)は工場の閉鎖を阻止するため、死に物狂いで働き、雇用を取り戻そうとした。我々とともに成功した。

自動車工場は閉鎖されず再稼働し、自動車に積まれる最新のバッテリーを製造する工場の建設も、新たに始まった。町は置き去りにされず、再び前進するコミュニティになった。

この国を築いたのは中流階級だ。そして、労働組合がその中流階級を築いた。

米国民は倒れても、また起き上がる。我々は突き進む。それが米国民だ。あなたたち米国民だ。米国民はあなたたちのおかげで戻ってきた。あなたたちのおかげで未来は明るい。

今夜、私は我々とともに築くことができる可能性に満ちた未来について語りたい。トリクルダウン論の日は終わりを迎え、富裕層と大企業ばかりが得する状況も終わる未来だ。

私は(富裕層から)父のキッチンテーブルへ、ほとんどトリクルダウンがない家庭で育った。だからこそ、私は中流階級が成功し、貧困層に生活向上の道が開かれ、富裕層もなお成功しつづけるための変革をもたらすことを決心した。皆が成功するのだ。

我々の活動の恩恵をあなた方にならざる感してもらった。めにも、まだやるべきことがある。米国民は処方薬を買う際にこの誰よりも多く支払っている。これは間違っている。私が終わらせる。

皆さん、医療保険制度改革法(オバマケア)は大変重要だ。これのおかげで1億人以上の人々が持病を理由に医療保険の加入を断られることがなくなった。

私の前任者、そしてこの議

ガザ支

人々は国境を越えるために密入国業者を8000ドルを支払う。審理が開かれるまで6〜8年かかるため、チャンスだと思つて8000ドルを支払う。だが、審理までの期間が6カ月、もしくは6週間ですぐに国外追放されると分かっている。その金額を支払って入国を試みることはしないだろう。

共和党内の友人はこの法案を成立させる義務がある。我々は行動する必要がある。もし私の前任者がこの演説を聞いていたらこう伝えたい、この法案を阻止するよう議員に圧力をかけたはずだ、この法案が可決するよう一緒に議会に働きかけてほしい。

悪者扱いはせず

私たちは一緒に協力できる。私はこれだけではない。前任者と違って「移民はわが国の血を汚す」などと悪者扱いはしない。家族を引き離すことはしない。信仰を理由に米国内への入国は禁止しない。私は前任者とは違い、大統領に就任した初日に包括的な計画を導入した。移民制度を修正し、国境を守り、夢を追う者たちに市民権取得への道を提供する計画だ。それ以上のこともたくさん盛り込まれている。

前任者とは異なり、米国民として我々がどのような国民であるかを知っているから

だ。我々は古今東西の心と魂



ノルウェーは、世界最大の生産国である。その生産量は、世界の総生産量の約20%に達する。これは、その国土の広さと気候の恵みによるものと考えられている。

また、ノルウェーは、漁業でも重要な役割を果たしている。特にサーモン漁業は、世界的に知られている。その高品質な魚は、世界中の消費者に愛されている。

さらに、ノルウェーは、石油と天然ガスの豊富な産出国でもある。これらの資源は、国の経済を支える重要な役割を果たしている。しかし、持続可能な開発の観点から、資源の活用にも配慮が必要である。

以上が、ノルウェーの主要な産業と特徴である。この国は、自然の恵みと持続可能な開発の両方を追求していることが、その成功の鍵となっている。

ノルウェーの社会制度も非常に興味深い。高い所得水準と優れた社会福祉制度は、国民の生活水準を高く保っている。これは、社会政策の徹底した実施による成果である。

この国は、環境保護にも力を入れている。森林保全や自然保護の取り組みが、その国土の美しさを保ち続けている。これは、観光業にも大きな貢献をしている。

また、ノルウェーは、教育と研究開発に力を入れている。高い識字率と先端技術の研究は、国の競争力を向上させている。これは、長期的な成長を支える基盤となっている。

さらに、ノルウェーは、国際社会でも積極的に貢献している。平和協力や人道支援の取り組みが、その国際的な評判を高めている。これは、国のソフトパワーを強化している。

以上が、ノルウェーの社会と国際的な役割である。この国は、持続可能な発展の模範となることを目指している。その取り組みは、世界中に学びの余地を提供している。

ノルウェーの文化も非常に興味深い。伝統的な音楽や文芸は、その歴史と文化を伝える重要な役割を果たしている。これは、国民のアイデンティティを強化している。

この国は、社会正義にも力を入れている。高い透明性と公平性は、国民の信頼を築き上げている。これは、社会の安定と発展を支える重要な要素である。

また、ノルウェーは、労働市場でも柔軟な対応をしている。労働者の権利保護と雇用の安定性を確保している。これは、労働力の質を向上させている。

さらに、ノルウェーは、高齢者の生活にも力を入れている。高齢者の生活の質を向上させる取り組みが、その社会政策の特徴となっている。これは、人口高齢化への対応策として注目されている。

以上が、ノルウェーの社会政策と福祉制度である。この国は、持続可能な社会の構築を目指している。その取り組みは、世界中に学びの余地を提供している。

ノルウェーの食文化も非常に興味深い。新鮮な食材を使用した料理は、その食生活の特徴となっている。これは、国民の健康と食生活の質を向上させている。

この国は、観光業にも力を入れている。美しい自然景観と独特の文化体験を提供している。これは、観光客を惹きつける重要な要素となっている。

また、ノルウェーは、スポーツ文化にも力を入れている。冬季オリンピックの開催経験も、そのスポーツ文化の発展を示している。これは、国民の健康意識を高めている。

さらに、ノルウェーは、デジタル技術の活用にも力を入れている。デジタル化の推進は、国の競争力を向上させている。これは、未来の成長を支える基盤となっている。

以上が、ノルウェーのデジタル化と未来の展望である。この国は、持続可能な未来の構築を目指している。その取り組みは、世界中に学びの余地を提供している。

ノルウェーの未来は、明るいものである。持続可能な開発の取り組みが、その成長を支える重要な要素となっている。これは、国民の期待に応えることができるであろう。

入贅して家族を救った妻

入籍して家族を救った妻の物語。それは、愛と犠牲の物語である。彼女が家族を守るために歩いた長い道は、感動を与えている。

彼女が結婚したのは、夫が健康を失ったときであった。夫の病は、家族の未来を脅かすほどの深刻なものであった。彼女が立ち上がったのは、その時であった。

彼女は、夫の病を治すために、あらゆることを試みた。薬を飲んで、手術を受け、でも、夫の病は治らなかった。彼女は、绝望に陥っていた。

しかし、彼女は諦めなかった。夫の病を治すには、別の方法が必要だと考えた。彼女は、入籍することを決めた。それは、夫の病を治すための最後の手段であった。

入籍後、夫の病は徐々に治癒していった。これは、彼女の入籍のおかげであった。彼女の愛と犠牲が、夫の病を治す鍵となっていた。

この物語は、愛の力で乗り越えられる困難を示している。それは、希望と勇気をくれる物語である。家族を守るための決断は、時に必要になる。

彼女の入籍は、夫の病を治すだけでなく、家族の絆を深めることにも成功した。それは、愛の力で築かれる絆の強さを示している。

この物語は、世界中の読者に感動を与えている。それは、愛と犠牲の物語である。家族を守るための決断は、時に必要になる。



この物語は、愛と犠牲の物語である。彼女が家族を守るために歩いた長い道は、感動を与えている。

彼女が結婚したのは、夫が健康を失ったときであった。夫の病は、家族の未来を脅かすほどの深刻なものであった。彼女が立ち上がったのは、その時であった。

彼女は、夫の病を治すために、あらゆることを試みた。薬を飲んで、手術を受け、でも、夫の病は治らなかった。彼女は、绝望に陥っていた。

しかし、彼女は諦めなかった。夫の病を治すには、別の方法が必要だと考えた。彼女は、入籍することを決めた。それは、夫の病を治すための最後の手段であった。

入籍後、夫の病は徐々に治癒していった。これは、彼女の入籍のおかげであった。彼女の愛と犠牲が、夫の病を治す鍵となっていた。

この物語は、愛の力で乗り越えられる困難を示している。それは、希望と勇気をくれる物語である。家族を守るための決断は、時に必要になる。

彼女の入籍は、夫の病を治すだけでなく、家族の絆を深めることにも成功した。それは、愛の力で築かれる絆の強さを示している。

この物語は、世界中の読者に感動を与えている。それは、愛と犠牲の物語である。家族を守るための決断は、時に必要になる。